

金沢 21 世紀美術館のマネジメント

——地域住民へのホスピタリティの視点から——

中 島 恵

Abstract

The importance of local tourism administration has been pointed out. The Japanese national tourism administration established 'Visit Japan Campaign' and Japan Tourism Agency in 2008. We started aiming the tourism founding nation, however, we have many problems. Especially, one of the roles of local tourism administration is to create attractive destination and facilities. 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa is a well known facility of the local tourism administration. So that I will consider that the management system of 21st Century Museum of Contemporary Art, Kanazawa from the view point of hospitality for citizens. The museum is managed by Kanazawa City Government, located near Kenrokuen and the downtown. It is a good example of successful local tourism administration. I went there for interview to the manager how they manage the museum.

The museum is established in the downtown in 2004 to revitalize the downtown. The local government hopes to revitalize the city, provide healing area and hospitality as a park, to make citizens reside. Their first purpose of the business is not gains. They would like to provide the people hospitality.

Key words : Local Revitalization, Hospitality, Tourism Administration

1. はじめに

小泉首相（当時）は海外からの旅行者増大とこれによる地域活性化を図る方針を内閣総理大臣演説（2002年2月）で述べ、「観光立国懇談会」を設置し、国土交通省は2003年度より「ビジット・ジャパン・キャンペーン」というインバウンド観光促進策を打ち出している。そして2008年10月に観光庁が発足した。

日本は国策として観光立国を目指すようになったものの、都道府県または市町村レベルの観光行政では外国人観光客誘致の機運が高まっているものの予算措置の恩恵が波及していないことが指摘されている（捧, 2003）。観光事業は、国が中心に進める誘致事業を一方の車輪とすると、地域の魅力を高めるための事業がもう一方の車輪として位置づけられる。つまり、国がPRや情報提供によって認知度を高め、地方行政が受け入れ態勢の整備を含めた観光地としての魅力を磨き来訪者の満足度を高める必要があると指摘されている。各自治体は、異なる事情を抱えており、国よりも個別の事情に精通しているため、地域に密着した地方観光行政が必要になるとされている（捧, 2003）。

地方自治体による観光行政の成功例として金沢21世紀美術館が挙げられる。同美術館は2004年に石川県金沢市の兼六園近くの中心市街地に設立された金沢市営の美術館である。年間入場者数が兼六園約180万人に対して、同美術館は約150万人のため成功とってよいだ

ろう。同美術館は芸術作品の展示の場のみならず、地域住民の交流の場でもある。本稿では、金沢 21 世紀美術館のマネジメントを地域住民へのホスピタリティの視点で考察する。研究方法は石川県および金沢市の資料調査とフィールドワークである。フィールドワークでは、同美術館の総務課長補佐への聞き取り調査と施設見学を行っている。

2. 兼六園周辺文化ゾーンと金沢 21 世紀美術館

金沢市は 2004 年 3 月に「金沢市中心市街地活性化基本計画」を策定し、そこで 5 ヶ年計画（2004～2008 年）を立案している。それは 1998 年 7 月に施行された「中心市街地における市街地の整備改善及び商業等の活性化の一体的促進に関する法律」に基づく。金沢市では、歴史・文化施設等の基盤整備が順調に進んでおり、今後は整備された拠点施設を活用して「交流人口の増加」を図ることが重要な視点となることから、整備テーマを「まちなかの定住と交流の促進」と設定している¹。そのために同市は、賑わいのある美しい都市基盤づくりを担うことを同美術館に期待している。具体的には、アートを活用した交流活動を通じて賑わいづくり、そして中心市街地に立地するため周辺商店街との回遊性を生み出すことを目指している²。つまり、同美術館のマネジメントは一観光施設の経営以上に同市の中心市街地の賑わい創出、そこから地域活性化、暮らしの良さから住民の定住促進という性格を持つ。

3. 金沢 21 世紀美術館のマネジメント

上述のような使命を有する同美術館は、2004 年開業、金沢市営であり、兼六園近く、金沢市役所の隣、香林坊、片町という中心市街地から徒歩圏に立地する。1995 年、石川県と金沢市が共同で都心地区整備構想検討委員会を設置し、1997 年、美術館等基本計画策定に向けての専門アドバイザー（17 人）および総合アドバイザー（4 人）を委嘱した。2004 年開業、2005 年、開館 1 年で入館者 157 万人を達成した³。

金沢市の 2010 年度予算で、同美術館は「6. 都市政策、総務、その他部門」の「(52) 金沢 21 世紀美術館企画運営費」として 2 億 3244 万円、「(53) 金沢 21 世紀美術館管理運営費」として 4 億 7846 万円、「(54) 金沢 21 世紀美術館施設整備費」として 1750 万円が計上されている⁴。なお同美術館は、妹島和世氏と西沢立衛氏／SANAA 事務所の設計である⁵。同美術館は市立のため財務状況を公表する義務がある。

以降、同美術館の総務課長補佐への聞き取り調査から明らかになったことである。

石川県庁移転が決まると、そのエリア（兼六園周辺文化ゾーン）の昼間の人口減少および賑わいの喪失が懸念された。そこで「新しい文化の創造」、「新たなまちの賑わいの創出」を目的に集客力ある施設として同美術館が設立された。美術館を設立した理由は、①同市には市立美術館がなかったため、②同市には市立金沢美術工芸大学があるので、その卒業生への発表の場の提供、③県内の美術団体からアートギャラリー設立の要望があったためである。現代アートを扱うことにした理由は、県立美術館（伝統アート）との棲み分けである。

同美術館は、指定管理者制度により金沢市が出資している財団法人金沢芸術創造財団に運営されている。詳細は後述するが、平成 22 年度の運営費は約 7 億 6000 万円で、その財源は指定管理料として市から約 7 億 1000 万円、同財団のカatalog販売等の売上で約 5000 万円であ

る。

同美術館の運営体制の概要は以下のようである。

同美術館は、指定管理者制度により金沢市が出資している財団法人金沢芸術創造財団に運営されている。平成22年度の運営費は約7億6000万円である。その財源は指定管理料として市から約7億1000万円、同財団のカタログ販売等の売上で約5000万円である。同美術館は、地域住民へのホスピタリティとして、無料ゾーンを設置し、さらに観覧料、市民ギャラリー等の貸し施設の使用料も低く抑えている。その組織は、総務課、交流課、学芸課、広報室である。平成22年度の職員は財団職員30名、市派遣職員6名である。美術の専門家として、学芸員（キュレーター）9名、インスタレーション・コーディネーター（展示のコーディネーター）1名、エディケイター（教育普及）2名、アーカイヴィスト（学芸司書）1名である。

同美術館は、ホスピタリティ実践のために次のように設計の工夫がなされている。

建物の壁は、全面ガラス張りである。特に美術館に入るつもりがなかった人がふらっと立ち寄るように、そして無料ゾーンから有料ゾーンと展示品がちらっと見えるように造っている。これについて総務課長補佐は次のように述べている。もともと美術館に美術品を見に来るコアな美術ファンはそれほど多くないと思われるので、まずは来館してもらおうと考えている。この建物は、設計の段階から学芸員の意見が取り入れられている。美術館の建設にあたっては、おそらく自治体が建物を先に建て、そこに学芸員を雇って様々な企画立案してもらおうのが一般的だと思われるが、同美術館は設計の段階で学芸員の意見を取り入れているという特徴がある。同美術館は、貸し施設（ギャラリー）や物品販売、カフェレストラン、茶室等のテナントに低額で入ってもらい地域住民の憩いの場となることを目指し、気軽さ、楽しさ、使いやすさがキーワードの今までにない美術館である。

兼六園の真弓坂口の近くなので、雨が降ると兼六園の入場者が来ることがある。入館者にとっては新しくてきれいな建物で雨宿りができ、トイレ利用も可能となる。総務課長補佐はトイレのみの利用も構わないと述べており、ホスピタリティが見られる。

4. 発見事項と考察

本稿では次の2点が明らかになった。

第1に、同美術館は、金沢市の中心市街地の賑わい創出、地域住民へのホスピタリティ提供とそれによる住みやすいまち暮らしの良さから住民の定住促進という性格を持つ。第2に、このように広く門戸を開き、利益を上げることよりもまちの賑わいを創出する憩いの場として利用してほしいと考えている。

観光業政と民間の差異として、民間企業と異なり単独で黒字を出すことは第一義の目的ではないため、低額を維持することができ、利用しやすいことが挙げられる。展覧会入場者にとっては観覧料の負担軽減となる。地域の芸術家、芸術団体にとっては低額で展示機会（貸し施設）を得ることができる。利用しやすい美術館の存在は、金沢市の文化水準向上につながり、市のブランド化しいては定住促進が期待される。

5. おわりに

小泉政権下で、「観光立国懇談会」設置、「ビジット・ジャパン・キャンペーン」というインバウンド観光促進策策定、2008年観光庁発足など観光立国を目指す政策が推進されている。しかしながら、都道府県または市町村レベルの観光行政では外国人観光客誘致の機運が高まっているものの予算措置などの恩恵が波及していないことが指摘されていることから、地方行政が受け入れ態勢の整備を含めた観光地としての魅力を磨き来訪者の満足度を高める必要があると指摘されている。各自治体は、異なる事情を抱えており、国よりも個別の事情に精通しているため、地域に密着した地方観光行政が必要になるとされている（捧，2003）。

そのような中で、本稿では観光行政の成功例である金沢 21 世紀美術館のマネジメントを検証してきた。研究方法は、石川県および金沢市の行政発行資料と総務課長補佐への聞き取りである。

同美術館は、①金沢市の中心市街地の賑わい創出、地域住民へのホスピタリティ提供とそれによる住みやすいまち、暮らしの良さから住民の定住促進という性格を持つこと、②このように広く門戸を開き、利益を上げることよりもまちの賑わいを創出する憩いの場として利用してほしいと考えていることが明らかになった。

過疎化や少子高齢化により地方の地域活性化は我国の課題であり、成功している観光行政は地域活性化の手法として有効である。今後、調査対象組織をより広げていきたい。

謝辞

調査にご協力して下さいました金沢 21 世紀美術館の総務課長補佐に大変感謝しております。この場をかりて厚く御礼申し上げます。

注

- 1 石川県庁公式 HP「兼六園周辺文化施設の活性化について」兼六園周辺施設活性化検討委員会提出（2006）、2010年7月8日アクセス、<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/saisyuall.3823.kb.pdf>
- 2 金沢市役所公式 HP、「金沢市中心市街地活性化基本計画（案）（平成 16 年度～平成 20 年度）」、2010年7月8日アクセス、2004 <http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kasseika/old/03kekka/03/03.data.pdf>
- 3 金沢 21 世紀美術館公式 HP、2010年7月8日アクセス、http://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=50&d=1
- 4 金沢市公式 HP「金沢市予算概要」（平成 22 年度）、2010年7月8日アクセス、<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/4895/1/zentai.pdf>
- 5 金沢 21 世紀美術館来場者向けパンフレット

参考文献・URL

- 捧 富雄（2003）「これからの市町村観光行政の役割」『岡山商大社会総合研究所報』第 24 号、102-115 頁
- 金沢 21 世紀美術館来場者向けパンフレット
- 石川県庁公式 HP「兼六園周辺文化施設の活性化について」兼六園周辺施設活性化検討委員会提出（2006）、2010年7月8日アクセス、<http://www.pref.ishikawa.jp/muse/saisyuall.3823.kb.pdf>
- 金沢市役所公式 HP、「金沢市中心市街地活性化基本計画（案）（平成 16 年度～平成 20 年度）」、2004

http://www.city.kanazawa.ishikawa.jp/kasseika/old/03_kekka/03/03_data.pdf

金沢市公式 HP「金沢市予算概要」(平成 22 年度)、2010 年 7 月 8 日アクセス、<http://www4.city.kanazawa.lg.jp/data/open/cnt/3/4895/1/zentai.pdf>

金沢 21 世紀美術館公式 HP、2010 年 7 月 8 日アクセス、http://www.kanazawa21.jp/data_list.php?g=50&d=1